

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんくるブレバ 2単位			
○保護者評価実施期間	令和7年 3月 3日		～	令和7年 3月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	令和7年 3月 3日		～	令和7年 3月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 4月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	パソコンやSSTなどのカリキュラムによる社会性の向上がはかれる。	視覚優位の子や、聴覚優位の子に合わせて、イラストを用いたり、小学生にもわかるようにかみ砕いて説明をしたりするように心がけている。	小学生高学年、中高生が多い事業所とはなるが、大人になるために少しずつ成長できるよう、社会人としてのスキルを養うためのカリキュラムを取り入れていく。
2	お出かけで興味や関心を養う。	地域のイベントや、工場見学、美術館等に足を運び、様々な事柄に興味や関心を持ってもらうよう取り組んでいる。	工場見学などに行った際には、何を学べたか子ども達に話を聞き、子どもが意見を言う場の提供や、より物事に関心を持てるようにしていく。
3	進学先への意識を向けていく。	県内にはどのような学校があるか。学生のうちにどのように過ごすといいかなど話をする場を持ち、将来について意識しているように取り組んでいる。	実際に学校見学に行ってもらったり、職員も学校説明会に参加したりするなど、子ども達に体験してもらう事により、より身近な将来を感じてもらえるようにしている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	特定のカリキュラム利用の希望者が偏ってしまう。	取り入れている様々なカリキュラムの魅力を子ども達にもわかってもらえるよう、どのようにしていくかが課題。	カリキュラムの名前だけではイメージがつかない場面も多いと感じるので、イラストや実際に体験授業のような物を行い、イメージがつきやすいようにしていきたい。
2	特定の地域のみの利用受け入れとなっている。	送迎時間の兼ね合いから、同じ市内でも受け入れができていない状況がある。	送迎時間の調整や、保護者様からご協力頂いて、送迎範囲外も受け入れ可能にできないか工夫していきたい。
3	来客対応時に駐車場が足りなくなる。	駐車台数が少ないため、来客対応時に駐車場が足りなくなるケースがある。	外部の駐車場を複数台契約し、モニタリング時などにスムーズに駐車可能なスペースを確保していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 りんくるブレバ 単位2

公表日 令和 7年 5月 7日

利用児童数 19

回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					日々の活動のスペースは、十分に確保しております。運動やレク活動、活動内容等に応じて、十分な広さの確保が必要な場合は、場所を借用する等し対応しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	1			・子どもがまたたみに困ることがある為、専門性が適切かはわからない。	指定基準を満たした職員配置をしております。専門性については、本事業所ホームページよりご紹介しております。今後もお子様の特性への十分な理解に努め、支援の質の向上を図ってまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11			1		本事業所が建物2階にある為、階段の昇降が困難な方のご相談があった際は、1階の事業所をご案内しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					個別支援会議にて本人支援課題等について話し合い、計画内容の再考や、アセスメントシートや児童の面談を活用し、子どもや保護者のニーズを聞き取りして立案しております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1			・よくわかりません。	日々の療育活動プログラムは、子どもたち自ら5項目から選択していく選択制へと変更し、固定化にならないように個々の状況に応じて工夫するなどの配慮をしております。月々のイベントも充実した魅力ある内容になるよう計画し、実施しております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2		1	・障害のない子や児童館との交流する機会は少ないように感じます。	野外活動や近隣の公園での遊び等を通して、地域の子どもたちと触れ合う機会を設けております。機会としては少なく感
保 護	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					見学や契約時に、わかりやすさを心がけながらご説明させていただいております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1		2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	12					日頃より保護者様へ、児童の気になる言動や体調面での様子を情報共有し、課題について伝え合い、共通理解を心がけております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12					電話やLINE等を活用したり、時には来所・家庭訪問しての相談の時間も設けたりしながら、困った時にはいつでもやりとりできる環境を整え、保護者様の悩みに寄り添えられるよう努めております。

者 へ の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			2		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2		1	・保護者会の開催がいつされているかわかりません。	今年度は2月に1度開催いたしました。ブログなどによっても開催の様子を開示しておりますが、周知不足を改善し、今後は情報共有としての機会をどのように持つか検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1			・相談があった時には、迅速に対応されていると思います。苦情はあまり聞かないのでよくわかりません。	ご相談や苦情等があった際には迅速かつ適切に対応できるような体制を整備しております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					今後も子どもや保護者様との意思疎通・情報伝達のための配慮を心がけてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12					毎月、活動の様子をブログやLINE等を活用し発信しております。ホームページでも活動概要や自己評価の結果を掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					秘密を保持するべき旨を、職員との雇用契約の内容としております。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12					各対応マニュアルは、契約時に周知・ご説明させていただいております。周知方法を今後検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	2			・定期的な火災・地震訓練を実施していることは知っています。必要な訓練かを判断するための評価は難しいです。	半年に1度、避難訓練を実施しております。訓練内容もブログ等を活用して様子を発信しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11			1	・まだそのような事がないのでわかりません。	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	10	2			・合わない児童がいて、そのこと関わりそうとする事があるので不安です。 ・随分慣れてきましたが、新しく通所してきた子たちにまだ不安があるみたいです。	・トラブルが無いように少しずつ関係を築けるようにしていきたいと考えています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	2			・本人の気分の差が激しい。 ・本人の体調や情動の不安定さがあり、利用できる回数は少ないのですが、行けた日に指導員さんと話したことや経験したことを報告してくれます。体調や情動の変化を細かく見て対応してくれて感謝しています。	今後も子どもたちが楽しく通えるように、個々の特性を理解した声かけや接し方を工夫し、安心して通える環境づくりに努めていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					令和6年4月より、学校休校日や土曜日の利用提供時間を、家庭の状況に合わせ、要望があれば1日預かりに変更するなど、柔軟に対応しております。日頃より事業所への療育活動等に対してのご理解とご協力ありがとうございます。今後も児童が自分らしく成長していけるよう支援の充実を図っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7年 5月 7日				
りんくるブレバ 単位2						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1		日頃の活動においては適切であると思いますが、室内レクを開催する際は、手狭と感ずることもあります。その際は近隣の公園や公共施設等も活用した活動に応じた工夫をしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1		日によっては児童人数の多い日や動きが活発な特性の児童対応に対して、もっと職員の手が必要と感ずることもあります。専門性を活かし全体を見て児童の動きが把握できるように質の向上を図っていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2		施設自体が2階建てのため、階段昇降が困難な方は1階へ優先的にご案内するなどしながら配慮しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2		毎朝椅子やソファの拭き掃除を行い、清潔で心地よい環境を整えています。児童が安全に過ごせる空間づくりができるように、活動によっては、装飾品の位置などを移動しながらスペース確保に努めています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		日々、振り返りを行いより良い支援につなげるよう努めています。	日々のミーティングに加え、適宜業務改善に向けての会議を通して、職員間の共通認識や方向性を確認し、より良い支援への意識づくりをすすめます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		毎朝のミーティング時に聞き取りを行っており、今後も職員の意見等を把握しながら業務改善を行っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	社内研修を行っています。外部研修はZoomなどオンラインを活用した研修参加を促しています。	・研修の開催内容アーカイブやシェア等を行い職員全体に周知する方法を検討していきます。 ・資格取得に向けた取り組みを検討していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	契約時や、個別支援会議等にて保護者様とお子様に関き取りしています。	全体に周知出来るように体制を整えています。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		活動プログラムを選択制へと変更したことで、より自立に向けて自己選択できるように支援の工夫を行っております。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	医療的ケア児童の受け入れがまだないため、判断が難しいが、アレルギー等の対応等については職員全体に周知して対応できるよう整えています。	てんかん発作やアレルギー反応等が起きた時の対応の流れを職員全体に周知できるようフローチャートにして体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		利用対象児童が小学校高学年や中学生になる為、現在対象児童はいないが、今後は他機関との情報共有や相互理解に努めていきたいと思っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1	野外活動や事業所近くの公園遊びでは、地域の児童との交流があります。	今後は地域の子供たちとの交流の機会を増やせるように体制を整えていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	開催の機会にもっと参加できるようにしていきたいです。	情報収集を行い、開催時に参加していきたいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	外部のペアレント研修実施の案内共有や、電話にての相談は常時行っています。	今後は、保護者会等にてペアレント・トレーニングの機会を増やしていきたいです。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		個人情報に十分注意して支援にあたっています。職員室が活動スペースと壁の隔たりがなくオープンスペースになっているため、大事な情報が児童の耳に届かないよう留意しながら電話対応や職員間での共有を行っています。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	年に1度発表会があり、保護者様のご家族その他知り合いや、関係機関(相談支援員・学校)を招待をしています。	全体に周知出来るように体制を整えています。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			今後も職員全体へ子どもの状況を確認し、周知を図っていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			